

べっぴん市議会だより

2011.1.1

No.100



首藤 正 議員



浜野 弘 議員



内田有彦 議員



泉 武弘 議員



河野数則 議員



江藤勝彦 議員



三ヶ尻正友 議員



永井 正 議員



清成宣明 議員



山本一成 議員



堀本博行 議員



野田紀子 議員



池田康雄 議員



松川峰生 議員



平野文活 議員



黒木愛一郎 議員



吉富英三郎 議員



猿渡久子 議員



萩野忠好 議員



国実久夫 議員



長野恭紘 議員



乙咩千代子 議員



松川章三 議員



荒金卓雄 議員



原田孝司 議員



加藤信康 議員



穴井宏二 議員



議長 野口哲男



副議長 市原隆生

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新政権による景気対策等の施策がいろいろと実施されましたが、依然として景気は低迷し先行き不透明のままです。観光が主産業である別府市にとって景気回復が最優先課題であります。官民一体となつて何とかこの難局を乗り切らなければなりません。

私ども市議会といたしましては、本年も自らの改革を引き続き行いながら、議会の更なる活性化、機能強化を図り、議会運営を推し進めたいと考えております。

そして、まず安定した行財政基盤を確立し、高齢者に優しく、若い世代の子育てや障がい者の支援、そしてすべての市民の皆さまが安全で安心して暮らせる施策など様々な行政サービスを展開しながら、希望あふれ豊かな生活が過ごせるよう市政の発展に邁進していく所存であります。

この一年が市民の皆様にとりまして素晴らしい年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

各会派から 年頭のどあいさつ



自民党議員団

清成宣明 議員 首藤 正 議員
浜野 弘 議員 河野数則 議員
三ヶ尻正友議員 永井 正 議員
山本一成 議員 松川峰生 議員
吉富英三郎議員 萩野忠好 議員
乙咩千代子議員 松川章三 議員

厳しい内外諸情勢の中

市民本位の行動を！

新年あけましておめでとうござい
ます。皆様にはお健やかに新年をお
迎える事とお慶び申し上げます。ま
た、平素よりご支援を賜り感謝申し
上げます。

さて、政権交代や参院選後の「ね
じれ国会」の出現、いずれも国民の
選択であります。しかし、普天間・
尖閣諸島・北方四島・南北朝鮮問題
等の外交防衛問題。転じて数々のマ
ニフェストは政策の不一致を露呈し、
まさに立ち往生であります。国政は
市政にも当然影響があります。そう

した厳しい情勢の中、先に自民党議
員団を中心に立ち上げた「行財政・
議会改革等推進特別委員会」は着実
に成果を残しています。議員定数を
4名減の25名に改め、更に行政に係
る色々な分野で議会としての権能を
最大限行使しています。国や行政に
おんぶされた時代は終了したという
認識に立ち、知恵を出し行動するこ
とにより、市民のお役に立ちたいと
願っています。今年は統一地方選の
年、あらん限りの力を尽くし会派一
丸となつて頑張ります。皆様の益々
のご健勝、ご多幸を祈念いたします。

新創世会

江藤勝彦 議員 野口哲男 議員
黒木愛一郎議員 長野恭紘 議員

市民の皆様と共に歩む

開かれた議会の構築へ

あけましておめでとうございます。

地方自治法が国において改正され、
「地域主権（分権）改革」が進展す
れば地方公共団体の自己決定・自己
責任の範囲は拡大し、議会の役割は
一層重要となり「二元代表制」の下、
議会の自主性・自立性を高め、別府
市に相応しい、自らの判断により権
能を行使できる「強い議会」を構築
しなければなりません。そのため議
員自ら資質を高め、市民の皆様の負
託に応え得る活動と、政策提言を行
い全てに開かれた議会としなければ
なりません。本年は別府市の更なる
活性化に全力で取り組む覚悟であり
ます。皆様方のご健勝、ご多幸をお
祈り申し上げますとともに、倍旧の
ご支援、ご指導、ご鞭撻をお願い申
し上げ、新年のご挨拶といたします。

公明党

堀本博行 議員 市原隆生 議員
荒金卓雄 議員 穴井宏二 議員

徹して！

市民本位の政策を！

新年あけましておめでとうござい
ます。

平素より大変お世話になり心から
感謝申し上げます。国を取り巻く状
況も激動の時を迎えた今、確かな舵
取りが求められており、別府市では
議会も定数削減を行い、いよいよ市
民本位の行財政改革が求められてい
ます。私も公明党市議団は「大衆
と共に」の立党精神のもと、皆様か
らの切実な声を真剣に受け止め、共
に悩み、解決策を見つけ、共に喜び
あえるよう、一つひとつの声を形に
できるまで真心こめて取り組んでま
いります。

現下の厳しい状況ではありますが、
今年一年、皆様方の幸多きことを心
からお祈りして挨拶とさせていただきます。

社民クラブ

内田有彦 議員 原田孝司 議員
加藤信康 議員

安心して暮らせる

社会の実現を！



新年あけましておめでとうござい
ます。社民クラブに対しまして、日
頃のご支援とご協力に心より感謝申

し上げます。

さて、経済不況が長引く中で、国民生活はますます厳しい状況です。昨夏、変革を望む国民の声が反映され政権交代が起きましたが、なかなか期待通りにはなっていないのが実情です。

私たち社民クラブは「生活再建」を合言葉に市民の目線で心の通った市政、真面目に働く者が報われる市政を目指しています。

今年も、市政に対するご協力と、私ども社民クラブへの叱咤激励を心からお願ひし、新年のご挨拶とさせていただきます。

日本共産党議員団

平野文活 議員 野田紀子 議員
猿渡久子 議員

弱者に優しい別府市を

目指してがんばります

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さんのご支援に感謝申し上げます。今年4月は、私たちは日本共産党の3人も4期目の審判をいただく市議会議員選挙です。

去年は、政権交代後の新政権も「前と変わらず」と市民の皆さんが失望された年ではなかったでしょうか。この10年間、社会保障制度の相次ぐ削減の挙句、消費税増税まで計画されています。

私たち日本共産党の3人は、税金の使い方を正してムダ使いを無くし、皆さんの声をまっすぐ市議会に届けます。福祉・教育・医療の改善、充実を進めて弱者に優しい市行政にするため頑張ります。ご一緒に街に賑わいを取り戻しましょう。

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員

今年は選挙の年

まずは選挙公約の検証を



新年明けましておめでとうございます。今年、4年に一度の政治を託す人を選ぶ選挙が行われます。ところが、政治が悪い、期待に込めてくれないなどの声をよく聞きます。それは投票したあなたにも責任の一端があるのではないのでしょうか。あなた

は、前回の選挙で候補者とのような約束をしましたか。そして、その約束はどうなったでしょうか。選挙公約は、有権者と候補者にとって大変重要なことです。まずは、有権者が選挙公約の検証をすることが必要ではないでしょうか。

市民の声クラブ

池田康雄 議員

今年も誠実に頑張ります

新しい年が明けました。皆さまにはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は期待されて政権交代した民主党政権も危機的な日本の経済の建て直しに成功したとは言いがたく、長く引く不況が暗い影を落とし続けています。

別府の浜田市政下でも、観光浮揚の兆しも生み出せず、厳しい財政下にも関わらず藤ヶ谷清掃センターを入札価格が12億円も高い企業に選定するという市民目線とはほど遠い決定をしました。頼みずみとの立地協定も守られていません。今年も私ら

しく敢然として行政チェックを心がけます。

市民みんなの会

国実久夫 議員

市政の発展と地域の活力を 後押しする議員力

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、素晴らしい新年を迎えたことと拝察致しますと共に、常日頃から議員活動に対して、温かいご声援をいただき心より感謝申し上げます。

さて、国内外とも厳しい、難しい世の中と相成りましたが、別府市だけでも発展を続けていかなければなりません。そのことが「市民みんなの会」の願いであります。終りになりましたが、今年1年皆様と共に市民生活の向上に向けて頑張る所存でございます。皆様のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

○掲載は、大会派順(同数の場合は、多期数会派から)です。

「べっぷ市議会だより」 100号記念

市民の皆様と市議会を結ぶ広報紙として親しまれてまいりました「べっぷ市議会だより」が、創刊から20年目にして100号を迎えることができました。今後も、ご意見などをいただきながら、内容の充実を図り、市議会の活動が皆様にとって一層身近なものとなるように努めてまいります。



「べっぷ市議会だより」の あゆみと主な動き

- 平成3年7月 創刊号発行
市議会議員(33人)の紹介と市議会のしごと(権限)等について紹介
「別府市議会だより編集委員会10人」を設置し、市議会だよりの編集を行う。
- 平成14年11月
市議会ホームページがオープン
委員会名を「議会報・ホームページ運営委員会」に改名
- 平成15年4月
議員定数が2人減の31人となる。
- 平成16年2月 第65号発行
第1回べっぷ子ども市議会を掲載
- 平成19年4月
議員定数が2人減の29人となる。
- 平成20年9月
別府市議会会議規則の一部改正に伴い「議会報・ホームページ委員会」へ改名
- 平成21年6月
本会議のケーブルテレビとインターネット中継を始める。
- 平成22年3月
平成23年4月施行の統一地方選より議員定数を4人減の25人とする条例改正案を可決

編集後記

「べっぷ市議会だより」は、創刊当時、多くの市民の方々に活動をお知らせし、「開かれた議会」にしたことことから発刊いたしました。以降、私も委員会では本紙により、定例会ごとの結果をまとめ市議会の動きを皆様にお知らせする一方、ホームページの開設をはじめ、昨年度からはケーブルテレビ等による本会議の中継を開始し情報提供を進めています。

今後も、「べっぷ市議会だより」については、より親しみやすく、分かりやすい紙面づくりを心がけてまいりますので、市民の皆様には引き続きのご愛読をお願い申し上げます。
議会報・ホームページ委員会一同

虚礼廃止に ご理解とご協力を

政治家は、選挙区内にある方に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候のあいさつ状(電報なども含まれます。)を出すことは禁止されています。